



# 2014年3月期 第2四半期決算説明会

---

2013年11月6日

JASDAQ:6467

**株式会社 ニチダイ**  
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

## ネットシェイプ事業

### 単独 ニチダイ

- ◆主に自動車のエンジン・トランスミッション・駆動系部品などの成型に使われる精密鍛造金型。
- ◆切削なしに部品成型を行うネットシェイプがコア技術。
- ◆自動車部品、エアコン部品(スクロール鍛造品)などの精密鍛造品の量産。



精密鍛造金型

### 海外拠点

#### ニチダイアジア (NDA)

- ◆タイに立地する金型販売拠点。

#### ニチダイUSA (NUC)

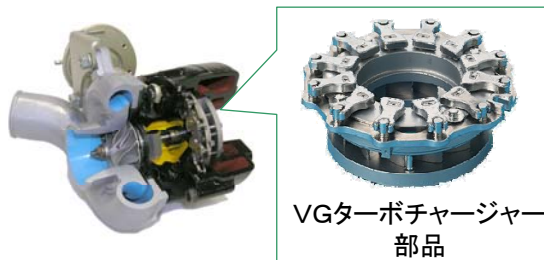
- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点。

※上記2社は、今期より連結対象

## アッセンブリ事業

### ニチダイプレジジョン (NPC)

- ◆ディーゼルエンジン用 VGターボチャージャー部品のアッセンブリ(組立)。



VGターボチャージャー部品

### ニチダイタイランド (NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。
- ◆ターボチャージャー部品の量産及びスクロール鍛造品の量産を行う。
- ◆今年度より金型生産を開始。



スクロール鍛造品



## フィルタ事業

### ニチダイフィルタ (NFC)

- ◆食品、医薬品、原子力、航空宇宙、ヘルスケア製品など、多様な産業分野で使われる積層焼結金網フィルター。



積層焼結金網フィルター

### タイ・シタート・メッシュ (TSM)



- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。

# I .14/3期上半期実績

---

連結

単位:百万円

	13/3 上半期実績 12/4-12/9	14/3 上半期計画 13/4-13/9	14/3 上半期実績 13/4-13/9	伸び率
売上高	6,563	6,700	6,687	1.9%
売上総利益	1,332	1,385	1,360	2.1%
販売管理費	842	905	948	12.5%
営業利益	489	480	412	△ 15.8%
営業外損益	11	20	△ 26	—
経常利益	478	460	439	△ 8.2%
当期純利益	283	210	274	△ 3.3%

\* 百万円未満切り捨て。

# I .14/3期上半期実績 — 四半期別業績推移 —

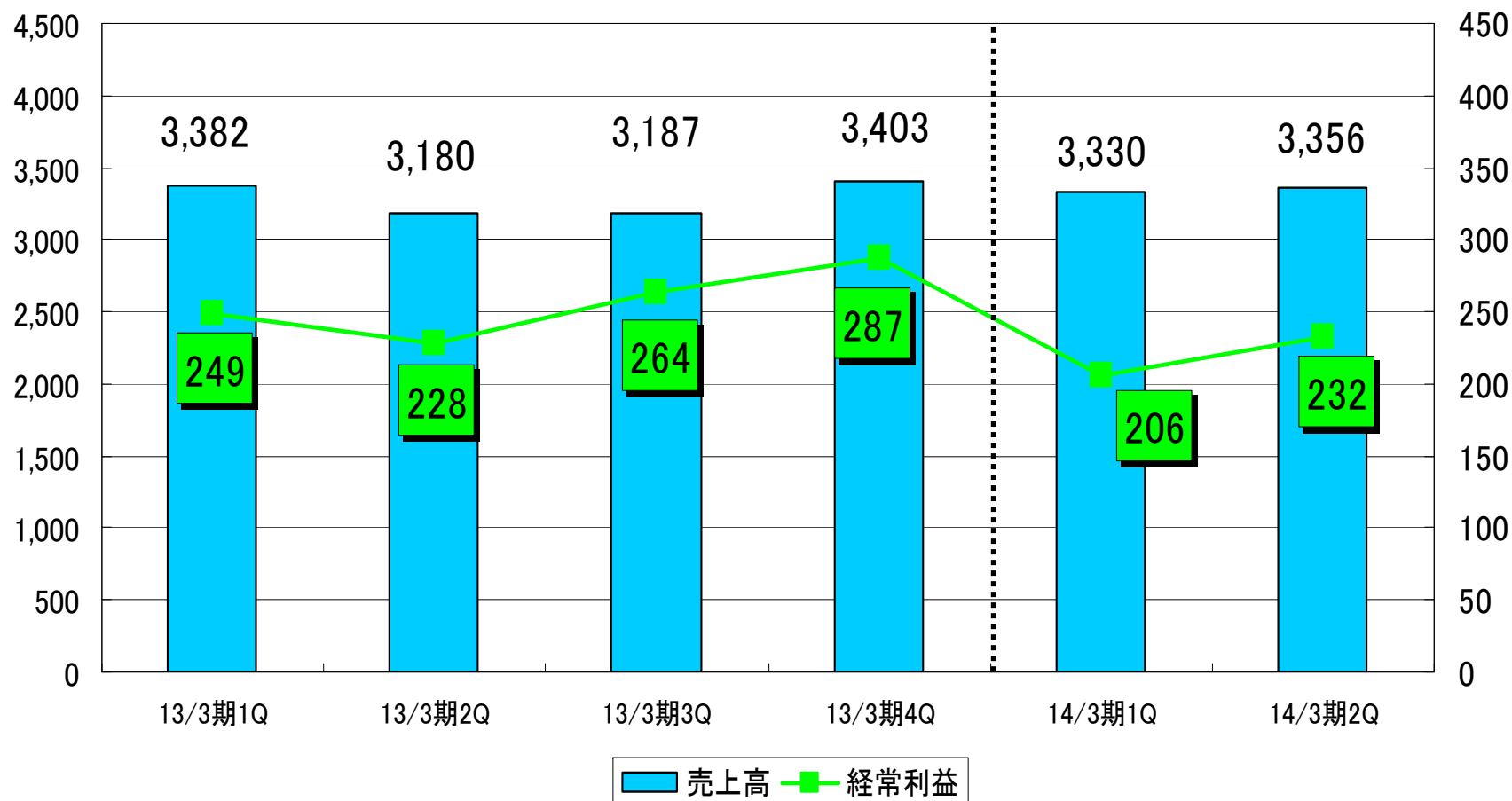
- ▶ 14/3期第1四半期、第2四半期にかけて、連結売上高はほぼ同水準で推移。
- ▶ ネットシェイプ事業の製品構成の影響などにより、経常利益が低調に推移。

売上高(左軸)

単位:百万円

経常利益(右軸)

単位:百万円



# I .14/3期上半期実績 — 事業別売上高の状況 —

連結

単位:百万円

事業	13/3 上半期実績 12/4-12/9	14/3 上半期実績 13/4-13/9	伸び率
ネットシェイプ	2,987	3,220	7.8%
アッセンブリ	2,885	2,686	△ 6.9%
フィルタ	690	781	13.1%
連結計	6,563	6,687	1.9%

▶金型部門に関しては、ほぼ前年並みの売上高となる。周辺装置となるダイセットの売上高が増加。  
 ▶精密鍛造品部門は、前年対比で増加。

▶前上半期、ニチダイタイランドが高水準で推移した影響。

▶海外向け製品が大きく伸長。

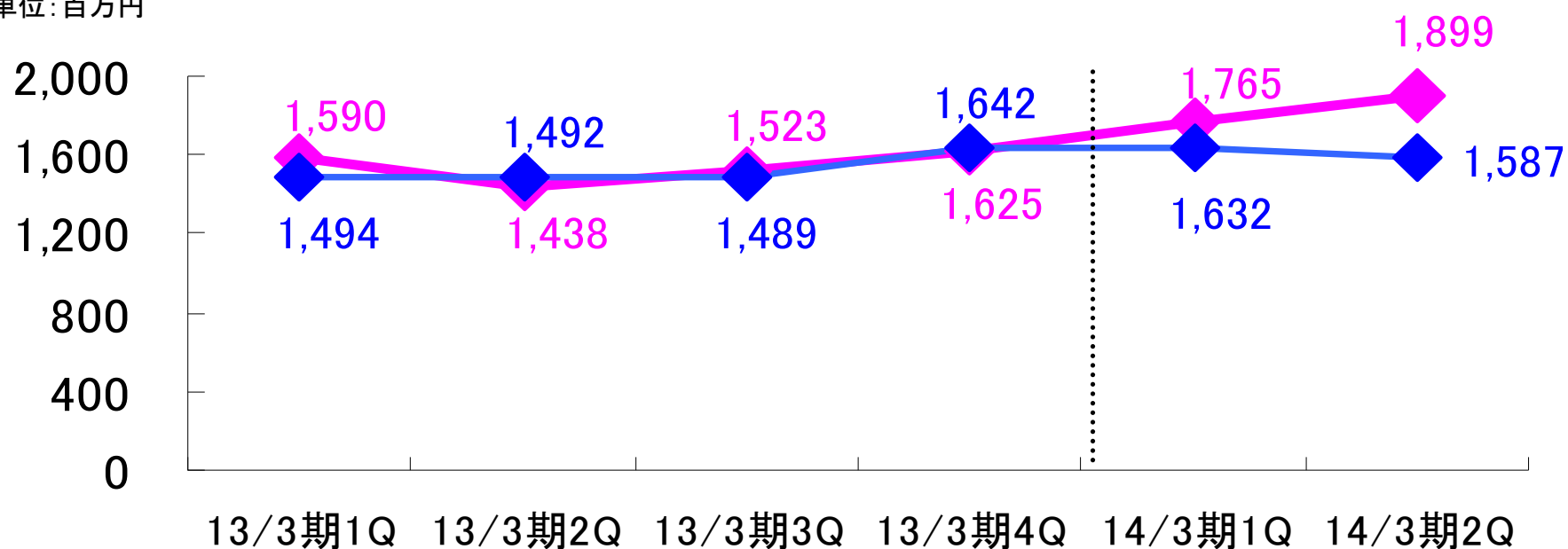
\* 百万円未満切り捨て。

## I .14/3期上半期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- ▶ **金型部門**: 今期に入り、伸び悩んでいる状況。ダイセット(金型を取り付ける治具)の売上高が増加し、前年対比では増加。
- ・第2四半期より、受注額が増加傾向になっている。
- ▶ **精密鍛造品部門**: 第2四半期から、国内のスクロール鍛造品の増産などにより、売上高が増加。ニチダイタイランド生産品も売上高に貢献。

### ネットシェイプ事業受注・売上高推移

単位:百万円



\* 百万円未満切り捨て。

◆ 受注高 ◆ 売上高

単位: 百万円

	12/9 実績	13/9 実績	伸び率
国内	2,067	2,012	△ 2.7%
海外合計	382	500	30.7%
アジア	333	377	13.0%
北米	47	95	100.5%
その他	1	27	2562.5%
金型	2,450	2,512	2.5%
精密鍛造品	537	707	31.7%
ネットシェイプ事業計	2,987	3,220	7.8%

■ 国内

➤ 国内向けが伸び悩んでいる状況。

■ 海外

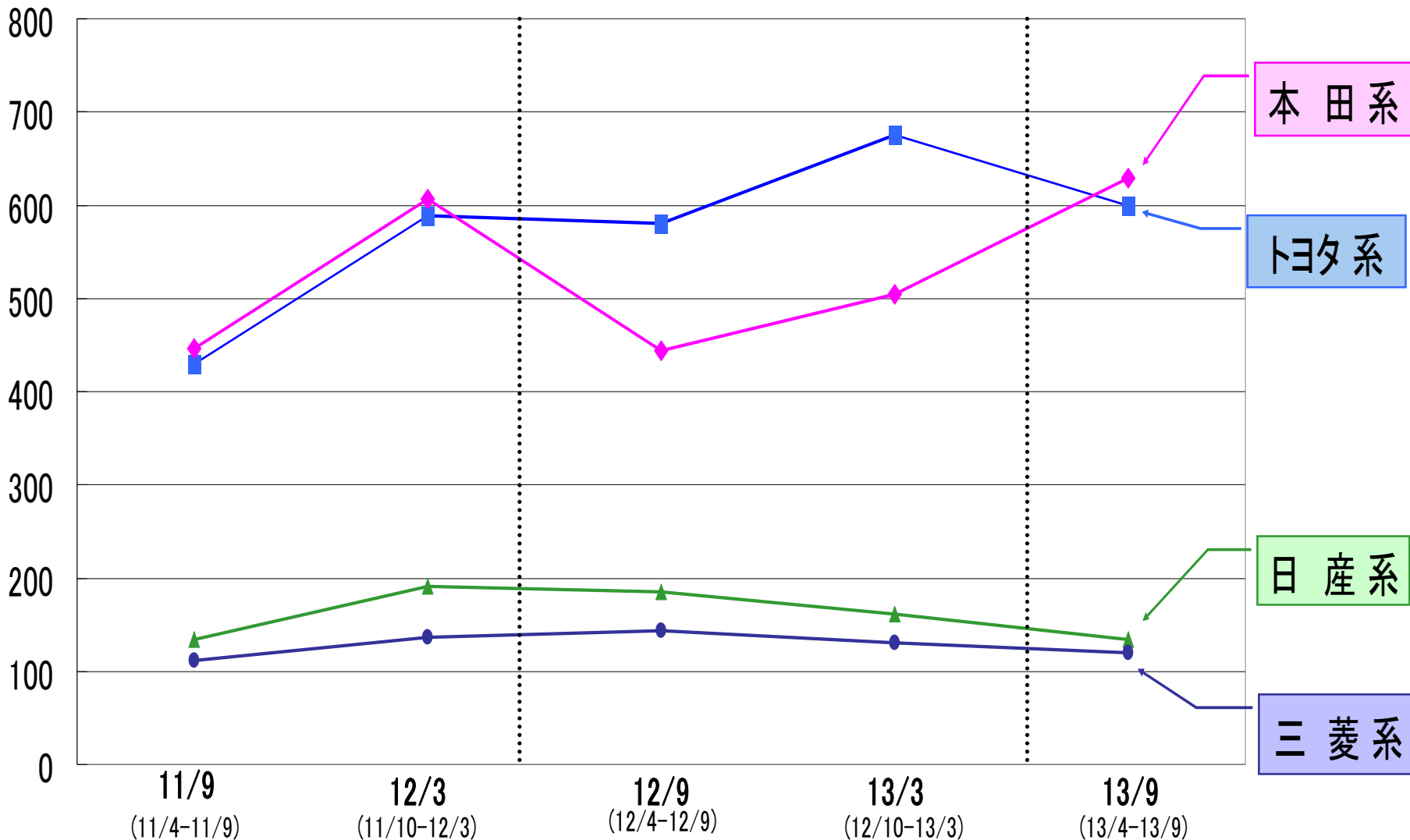
➤ 東南アジアなどアジア地域への売上高が増加。

■ 精密鍛造品

➤ スクロール鍛造品が増加。NDTで生産されるスクロール鍛造品も売上高に貢献。



単位:百万円

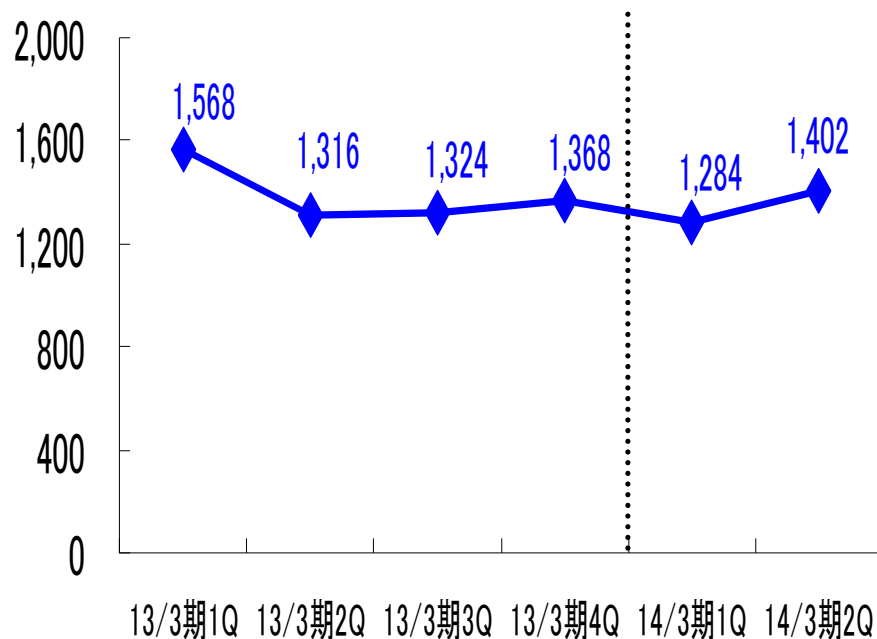


# I .14/3期上半期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ▶ニチダイタイランドが、前年の上半期タイ洪水からの挽回生産により高水準で推移。
- ▶第2四半期からの特定機種ターボチャージャー部品の増産により、期初の想定を超える売上高となる。

### アッセンブリ事業売上高推移

単位：百万円



\* 百万円未満切り捨て。

### 国内外別売上高推移

単位：百万円

	12/9 実績	13/9 実績	伸び率
国内	1,237	1,440	16.4%
海外	1,648	1,246	△ 24.4%
総合計	2,885	2,686	△ 6.9%

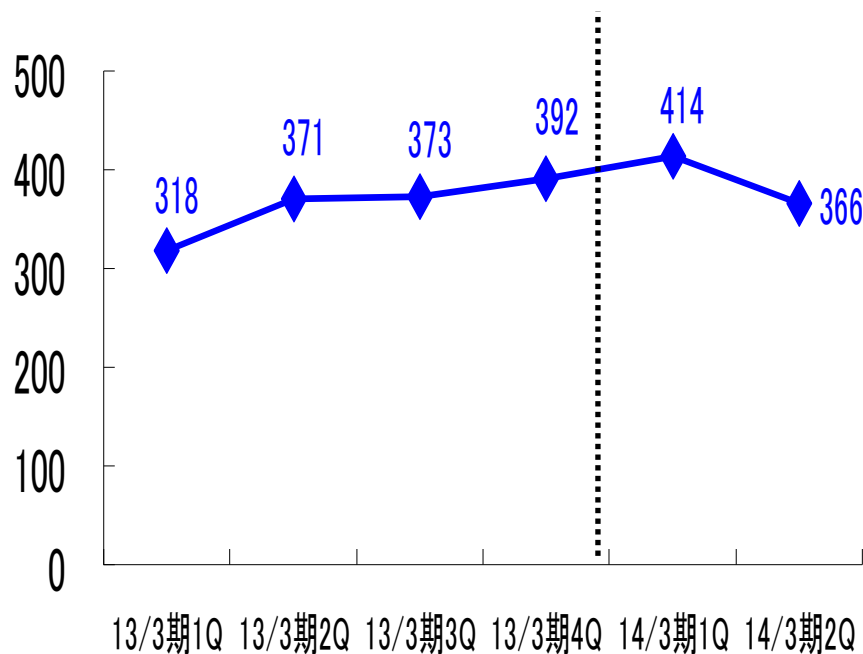
\* 百万円未満切り捨て。

# I .14/3期上半期実績 — フィルタ事業概況 —

- 国内では、ヘルスケア製品など特定分野の製品が堅調に推移。
- 中国、欧州向けなど輸出売上高が増加し、海外向け売上高が増加する。

### フィルタ事業売上高推移

単位:百万円



\* 百万円未満切り捨て。

### 国内外別売上高推移

単位:百万円

	12/9 実績	13/9 実績	伸び率
国内	498	524	5.3%
海外	191	256	33.5%
総合計	690	781	13.1%

\* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	12/9			13/9		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	2,987	159	5.3%	3,220	85	2.7%
アッセンブリ	2,885	201	7.0%	2,686	215	8.0%
フィルタ	690	118	17.1%	781	138	17.7%
連結計	6,563	478	7.3%	6,687	439	6.6%

▶ 金型部門が製品構成の影響などにより減益となる。  
 ▶ 精密鍛造品部門の増収効果あり。

▶ 第2四半期からの特定機種ターボチャージャー部品の増産により、前期とほぼ同水準の利益額となる。  
 ▶ 前年輸送コストが増加した影響あり。

▶ 売上高増加に伴う、増益。

\* 百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

	12/9		13/9	
	実績	比率	実績	比率
売上高	6,563	100.0%	6,687	100.0%
材料費	2,485	37.9%	2,389	35.7%
製品仕入	226	3.5%	227	3.4%
外注加工費	578	8.8%	488	7.3%
補助材料費	215	3.3%	216	3.2%
人件費	1,170	17.8%	1,189	17.8%
減価償却費	239	3.6%	311	4.7%
在庫増減	△ 47	△ 0.7%	△ 193	△ 2.9%
その他	267	4.1%	312	4.7%
売上原価	5,230	79.7%	5,327	79.7%
売上総利益	1,332	20.3%	1,360	20.3%

### 材料費の減少

➤ 売上高事業構成比の変化などによる影響。

連結

単位:百万円

	12/9 実績	比率	13/9 実績	比率
売上高	6,563	100.0%	6,687	100.0%
荷造・運賃	121	1.9%	86	1.3%
旅費交通費	50	0.8%	54	0.8%
人件費	403	6.2%	444	6.6%
減価償却費	33	0.5%	41	0.6%
賃借料	21	0.3%	25	0.4%
その他	211	3.2%	296	4.4%
販売・管理費	842	12.8%	948	14.2%

### 荷造・運賃

➤前年はアッセンブリ事業の輸送コストが増加。

連結

単位:百万円

	12/9 実績	13/3 実績	13/9 実績	増減
現金預金	1,887	1,743	2,695	951
受取手形	781	740	726	△ 14
売掛金	2,458	2,747	2,547	△ 199
たな卸資産	2,079	2,091	2,031	△ 59
その他	409	325	310	△ 15
貸倒引当金	△ 4	△ 4	△ 3	0
流動資産計	7,612	7,644	8,307	662
有形固定資産	5,285	6,111	6,695	584
無形固定資産	172	99	112	13
投資その他の資産	533	509	437	△ 71
固定資産計	5,991	6,720	7,246	526
資産合計	13,603	14,365	15,554	1,188

## 有形固定資産の増加

▶ニチダイタイランドへの投資が増加。

\* 百万円未満切り捨て。

\* 増減は、13/3実績と13/9実績との差

# I .14/3期上半期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

連結

単位:百万円

	12/9 実績	13/3 実績	13/9 実績	増減
買掛金	1,428	1,328	1,409	81
短期借入金	2,202	2,201	2,237	35
未払法人税等	110	110	125	15
賞与引当金	232	137	241	103
その他	497	751	859	108
<b>流動負債計</b>	<b>4,471</b>	<b>4,529</b>	<b>4,873</b>	<b>344</b>
長期借入金	1,524	1,369	1,571	202
その他	103	528	561	33
<b>固定負債計</b>	<b>1,627</b>	<b>1,897</b>	<b>2,133</b>	<b>235</b>
<b>負債計</b>	<b>6,099</b>	<b>6,427</b>	<b>7,007</b>	<b>580</b>
資本金	1,429	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	1,192	0
利益剰余金	4,685	4,891	5,151	259
少数株主持分	380	472	647	175
その他	△ 184	△ 48	125	173
<b>純資産計</b>	<b>7,504</b>	<b>7,938</b>	<b>8,547</b>	<b>608</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>13,603</b>	<b>14,365</b>	<b>15,554</b>	<b>1,188</b>

\* 百万円未満切り捨て。

\* 増減は、13/3実績と13/9実績との差



単位:百万円

	12/9	13/9	増減
営業活動によるCF	1,142	1,226	83
投資活動によるCF	△ 754	△ 519	235
財務活動によるCF	△ 458	158	617
現金及び現金同等物の増減額	△ 67	896	964
現金及び現金同等物の期首残高	1,500	1,387	△ 112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,432	2,438	1,006
<b>FCF</b>	<b>387</b>	<b>707</b>	<b>319</b>

### 財務活動によるCFの増加

▶前年は、社債償還による支出を含む。

\* 百万円未満切り捨て。

## Ⅱ. 中計の進捗状況

---

### ネットシェイプ技術での長軸部品の深穴加工

・2013年10月31日プレスリリース

#### 【従来の問題】

・加工を施すパンチの荷重が増加するため、パンチ座屈による破損やそれに伴う成形品の精度低下が問題。

(図1参照)

#### 【開発ポイント】

・荷重を低減させ、パンチの座屈を防止することで精度の高い深穴加工を可能とする。

#### 【今後の展開】

・軽量化部品の生産を行っている自動車部品メーカーに対して提案を積極化していく予定。

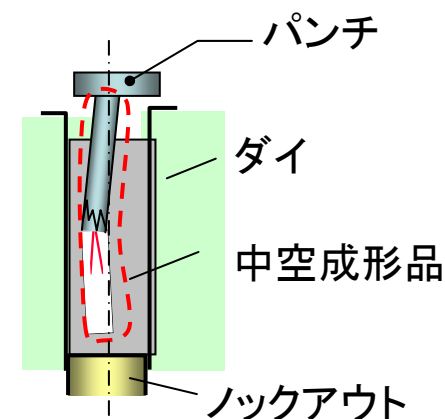


図1



中空成形品

### タイにおける金型生産開始 ⇒ 2013年7月より生産開始

- 売上高計画：2013年度 50百万円/2014年度 170百万円
- 当社の主要顧客である国内自動車部品メーカーのアジアを中心とした海外進出が背景。
- 金型生産開始に伴い、NICHIDAI (THAILAND) LTD. はネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方における、すべての製品ラインナップを網羅した生産拠点となる。



ニチダイタイランド

# Ⅲ.14/3期通期見込

---

連結

単位: 百万円

	13/3 実績 12/4-13/3	14/3 計画 13/4-14/3	伸び率
売上高	13,154	13,500	2.6%
売上総利益	2,612	2,820	7.9%
販売管理費	1,719	1,820	5.9%
営業利益	893	1,000	12.0%
営業外損益	△ 137	50	—
経常利益	1,030	950	△ 7.9%
当期純利益	561	520	△ 7.4%

\* 百万円未満切り捨て。

### ネットシェイプ事業

- **金型部門**: 第2四半期より金型製品の受注額が増加している状況。増加が予想される金型需要を確実に捉え、売上高増加に結び付けていく。
- **精密鍛造品部門**: 引き続き、スクロール鍛造品が期初の想定を超える生産となる見込み。

### アッセンブリ事業

- 上半期に引き続き、特定機種ターボチャージャー部品が牽引し、期初の想定を超える売上高で推移する見込み。

### フィルタ事業

- 中国等への輸出製品が増加し、期初の想定通りの売上高で推移する見込み。

連結

単位：百万円

	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3
	実績	実績	実績	実績	実績	計画
設備投資額	524	434	372	627	1,605	1,100
減価償却費	633	557	532	539	602	800

\* 百万円未満切り捨て。



	第2四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
11年3月期	3.00	6.00	9.00
12年3月期	6.00	6.00	12.00
13年3月期	8.00	8.00	16.00
14年3月期(予定)	8.00	8.00	16.00

本日は、ありがとうございました。

# 株式会社 ニチダイ

## NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : [konno@nichidai.co.jp](mailto:konno@nichidai.co.jp)

戦略のポイント	設定課題	進捗状況
QDC改善による 製品競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設計、生産から販売までのバリューチェーン全体を見直すことにより、QDCの大幅な改善ひいては製品競争力の強化を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引き続きリードタイム短縮を目的としたプロジェクトを推進。</li> </ul>
技術開発の推進 および新領域の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 精密鍛造分野のさらなる強化を目的に技術・開発本部を新設。</li> <li>✓ 精密鍛造分野の新工法、新製品の開発を進め、多様な産業分野での応用を模索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引き続き小型発電用ローター一部品の事業化の推進。</li> <li>✓ 中空成形品など精密鍛造部品の事業化の検討。</li> <li>✓ ステレコンの事業化を目指す。</li> </ul>
海外展開への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内主要顧客の海外展開を念頭におき、営業における国内外の連携を強化。</li> <li>✓ 金型、部品量産の生産拠点を念頭においたアジア戦略の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2013年7月よりNDTにて金型生産開始。</li> </ul>

戦略のポイント	設定課題	進捗状況
QDC改善による 製品競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サプライチェーンマネジメントの強化により、リードタイム短縮を図り、効率性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サプライチェーンマネジメント強化により、棚卸資産の回転を高める。</li> <li>✓ 塑性加工技術を生かしたコスト削減策 ⇒ターボチャージャー部品の部品内製 化の検討。</li> </ul>
技術開発の推進 および新領域の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内子会社ニチダイプレシ ジョン株式会社を生産技術、 研究開発を担う拠点として役 割を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ネットシェイプ事業の技術開発部門 との連携を推し進め、部品開発及び 新製品開拓を狙う。</li> </ul>
海外展開への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ タイのNDTにおける現調化 の推進。</li> <li>✓ 量産拠点としてNDTの役割 を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引き続き現調化などを進める。</li> </ul>

戦略のポイント	設定課題	進捗状況
<p>技術開発の推進 および新領域の開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ オゾン分解フィルターなどの新製品の拡販。</li> <li>✓ 焼結技術の応用分野を広げ、フィルター製品以外の新用途、新市場の確立を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引き続き新規顧客の開拓を進める。</li> <li>✓ その他、新素材の焼結などの開発を進め、新用途開拓を進める。</li> </ul>
<p>海外展開への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ タイのTSMにおける、石油掘削用フィルター以外のフィルター生産体制の確立。</li> <li>✓ TSMは、量産製品の生産拠点およびアジア地域の市場開拓拠点としての役割を担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ TSMを中心にフィルター製品のアジア市場での拡販を目指す。TSMにて、石油掘削用フィルター以外のフィルター製品を生産拡大。</li> </ul>